



志国高知 幕末維新博関連企画

第6弾

企画展

後のちまでもわすれざるために  
しるすものなりかし

# 安政地震、 幕末を揺るがす

—土佐・阿波の地震・津波碑が語るもの—

平成30年 4月28日(土)～7月1日(日)

開館時間：午前9時～午後5時 会期中無休

(入館は午後4時30分まで)  
臨時休館：7月2日(日) 館内メンテナンスのため

## 観覧料

大人(18才以上) 510円、団体(20名以上) 410円

無料：高校生以下、高知県・高知市長寿手帳所持者/身体障害者手帳・療育手帳・  
精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳所持者とその介護者(1名)

## 関連企画

※全て要観覧券、講演会・講座1・2は要申込。

- 講演会「幕末の土佐・阿波の地震碑」先着130名  
日本石仏協会理事・土佐史談会理事 岡村庄造氏 5月12日(土)13:00～14:30
- 講座1「歴史を写しとる—拓本のとり方—」先着15名  
日本石仏協会理事・土佐史談会理事 岡村庄造氏 5月12日(土)15:00～16:00

5月3日(日)祝は「れきみんの日」 観覧無料  
国際博物館の日記念事業

- 講座2「地震・津波碑を残す—3D化プロジェクト—」先着130名  
高知コア研究所主任研究員 谷川 亘氏 5月26日(土)14:00～16:00
- ミュージアムトーク(担当学芸員による展示解説) 申込不要  
5月3日(木・祝)、6月2日(土)、6月16日(土)14:00～14:30

主催 高知県立歴史民俗資料館(公益財団法人高知県文化財団)  
協力 徳島県教育委員会、国立研究開発法人 海洋研究開発機構高知コア研究所  
後援 高知県教育委員会、高知新聞社、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知



高知県立歴史民俗資料館  
KOCHI PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

# 安政地震、幕末を揺るがす

—土佐・阿波の地震・津波碑が語るもの—

時は幕末、鎖国から開国への転換を迫られ、政治的にも混乱の時代に突入した頃。嘉永七年（一八五四）十一月四日（旧暦）に安政東海地震、その三十二時間後の翌五日には、安政南海地震が相次いで発生しました。（この年の十一月二十七日に安政と改元）

太平洋に面した長い海岸線をもつ四国の土佐・阿波の両国は、強い揺れによる被害に加えて、特に沿岸部の地域は、津波による甚大な被害を受けました。この震災は人々を恐怖と悲しみに陥れるとともに、深く記憶されました。死者の供養のため、あるいは後世へ震災の惨状を伝え、戒めとするために、その記憶は文字として刻まれました。

地震・津波碑に記された内容は多岐にわたり、前日の東海地震による津波、前兆現象ともいえる異常な天候、地震発生時の様子、人々の避難の状況、津波の高さ・到達地点等々、さまざまな情報が含まれています。

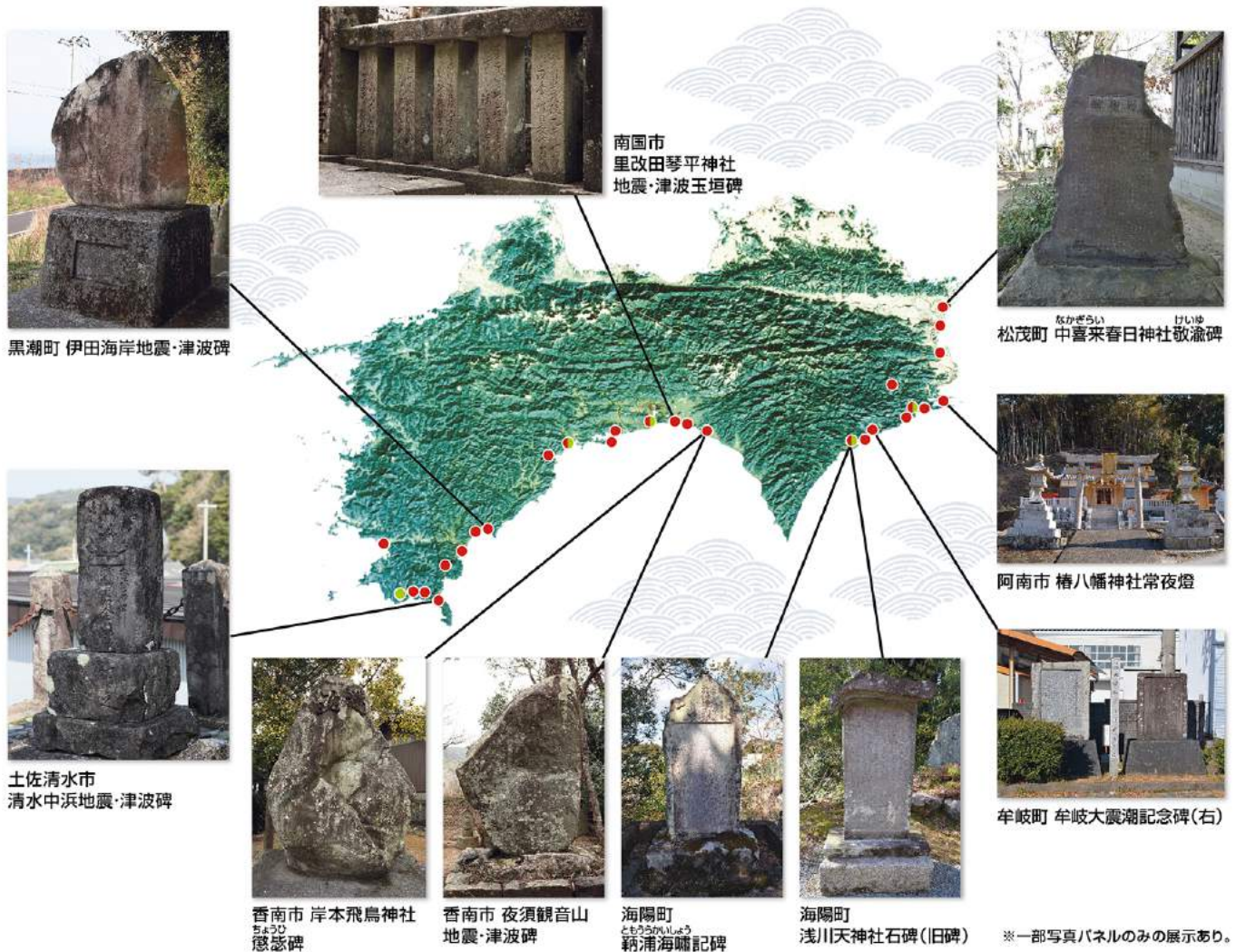
当館では、高知県徳島県両県の地震・津波碑等の拓本を収蔵しており、このたび、「志国高知 幕末維新博」関連企画として、安政地震・津波に関する拓本を主に展示紹介することとしました。

本展を通じて、先人たちが石碑を通して語りかける震災の実情に耳を傾け、近い将来、必ずやってくる南海トラフ地震への備えの一助としていただければと考えます。

あわせて、高知コア研究所が制作した石碑の3Dモデルも公開し、石碑のデジタル保存について考える機会とするとともに、その内容を公開します。

## 土佐・阿波の主な地震・津波碑の分布図

安政南海地震に関するものは赤丸



※一部写真パネルのみの展示あり。

### 高知県立歴史民俗資料館 (国史跡・岡豊城跡)



### 交通のご案内

- ◆高知市中心部より車で約20分  
高知自動車道南国I.C.から車で約10分・高知I.C.から車で約15分
- ◆JR高知駅(南口)よりとさでん交通バスで鎮石・オフィスパーク・田井行き、学校分岐(歴史館入口)下車(1時間に2,3便)、徒歩15分。



### 高知県立歴史民俗資料館

KOCHI PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY  
〒783-0044南国市岡豊町八幡1099-1  
TEL 088-862-2211 FAX 088-862-2110  
<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/> rekimin  
E-mail:rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp